

- **目的** 給食の歴史や給食の献立がどのように考えられているかを知ることを通して、これまでよりも給食に興味関心をもち、食べる意欲を高める。
- **対象者** 特別支援学校中学部生徒12名
- **活動概要**
  - 1 学校給食の歴史を知る
  - 2 「健康で元気が出る学校給食」の献立を知る
- **成果と課題**
  - ・ **成果**
    - ① 給食の歴史について、レプリカを活用して学ぶことで、生徒たちは実際に手に取りながら、当時の給食を想像したり、自分たちが食べている給食との違いに気付いたりすることができた。
    - ② いくつかの年代のレプリカを並べて見比べることで、学校給食の移り変わりを知ることができた。パンの大きさや食器の違いに気付くことで疑問を抱くことにつながった。
    - ③ 給食の献立がどのように考えられているかを知ること、感謝の気持ちや残さず食べるようにしたいという思いを話す姿が見られた。
    - ④ 給食の時間に、学んだことを思い出して違いを見付けて伝える姿が見られ、給食への興味関心を高めることができた。
  - ・ **課題**
    - ① 給食への関心が高まり、苦手なものも食べようとする姿が増えてきているが、家庭では好きなものだけを食べている生徒もいる。今回の学習を活かしながら、「体にとって必要だから食べよう」と思って食べることができるなど、食事の重要性について理解を深めていきたい。
    - ② 家庭とも連携して、健康的な食習慣を身に付けることを目指したい。

## 1 学校給食の歴史を知る

### (1) 給食の始まりと昭和30年代までの給食

- ① 明治22年、昭和20年、昭和20年代後半～30年代の3つのレプリカを提示し、どの給食が日本で最初の学校給食かクイズ形式で生徒に考えさせた。レプリカから、量や大きさなどをよく見比べて考える姿が見られた。



② 生徒たちにとって「明治時代」がイメージしやすいように、時代の流れを現在からさかのぼって示した。



(2) 牛乳とソフト麺の登場

昭和30年代以降の中で、特に、生徒が身近に感じることができる牛乳やソフト麺について、写真やイラストを用いて紹介した。毎日給食に出る牛乳や、月に1回程度のソフト麺がいつから学校給食に登場したのかについて、興味深く話を聞く姿があった。「ひるがの牛乳」については、今年度、生活単元学習で調べ学習をしていることもあり、生徒たちにとって親しみやすいものであった。



### (3) 給食の歴史クイズ

給食の歴史について学んだことをクイズ（5問作成）で確認した。クイズでは、できるだけイラストを取り入れることや三択にすること、画面に映すだけでなくプリントも用意し考えやすいように工夫した。また、5問目には、授業の前日の給食を問題に取り入れ、昔の給食と現在の給食を比べやすいようにした。明治22年の給食と前日の給食の違いについて聞くと、「品数が少ない」や「量が少ない」などといった発言があった。現在の給食は色々なおかずがあり、量も多いということに気付くことができた。

## 5もんめ

### きのうの給食はどれ？



①



②



③



### 2 「健康で元気が出る学校給食」の献立を知る

クイズの5問目から、なぜ、現在の給食は量やおかずが多いのかという疑問について、食べ物から人間に変わる教材を使って、栄養を考えて給食が作られていることを伝えた。ホワイトボードに貼ってある食べ物を裏返すと人間の姿に変わっていく様子を見て、驚くような反応をする生徒もいた。毎日食べている給食はどんな思いで作られているのか、なぜ様々な食材が使われているのかを知ることができた。

